

文学散歩第三弾

秋水と暁

のふるさとを歩く

鐵橋は町を囲んだ堤防から、

向ふの村の松の木の並んだ堤防まで

一直線に架っていた。

上林暁

「鐵橋の別れ」より

2019 年 3月 9日 (土)
10:30～16:30

四万十市中村・黒潮町大方周辺

主催：高知工業高等専門学校 共催：四万十市教育委員会

後援：黒潮町教育委員会、上林暁文学館 協力：高知県立文学館

どなたさまもご参加いただけます（事前申し込みが必要です）。

申し込み先：高知工業高等専門学校総務課企画係 電話：088-864-5643 FAX：088-864-5618 E-Mail：kikaku@jm.kochi-ct.ac.jp



上林暁の生家（黒潮町下田の口）

書くことで時代と対峙した幸徳秋水。書くために生きた上林暁。「書くこと」が、命と多く関わっていた二人の人物に焦点を置き、その営みの原点を探ります。

両者が幼い頃を過ごした四万十市中村、黒潮町大方周辺は、人々の生活と川との関わりが深い地域です。その流れは、時代とともに様々な文化や産業を生み出し、形を変えながらもゆるやかに現在へと引き継がれています。四季折々の風景をみせる四万十川、蛸瀬川流域の暮らしの姿を巡り、そこに萌芽した文学への理解を深めたいと思います。

～秋水と暁を巡る文学散歩～

幸徳秋水、上林暁が生まれ生まれ育った四万十市中村、黒潮町大方を歩きます。



集合場所：四万十市役所・中村駅



2月にリニューアルオープン！
四万十市郷土博物館を見学し、
為松公園の文学碑を巡ります。



築80年以上という笹岡旅館。各地から訪れた行商人がここで体を休めました。

笹岡旅館で
お弁当を
頂きます♪

暁が好んだ料理など、
エピソードと一緒に
お昼を楽しみます♪



秋水と暁が過ごしたふるさと
中村のまちを歩きます。



風光明媚な入野の松原に面した
場所に上林暁文学館があります。

生家の近くの高台にある上林暁の
お墓を訪ねます。



蚕室として使われていた家屋が
残る上林暁生家を見学します。

上林暁文学館で解散です。
土佐入野駅・四万十市役所へお送りします。

【参加費】参加費は無料です。昼食・お茶
とお菓子・保険代等（計 2000円程度）
を現地でお支払いください。

【定員】先着 25名

【集合場所】四万十市役所に10:30集合。
汽車でお越しの方は、中村駅から送迎バス
（中村駅10:15発）をご利用いただけます。

【行程】全行程は約 5キロです。歩きやす
い靴と動きやすい服装でご参加ください。

■ 中村駅集合（10:15）



■ 四万十市役所1階ロビー集合
（10:30）



お申し込み

高知工業高等専門学校総務課企画係へ FAX もしくはお電話・E-Mail にてお申し込みください。
電話：088-864-5643 FAX：088-864-5618 E-Mail：kikaku@jm.kochi-ct.ac.jp

ふりがな
お名前

性別

年齢

ご住所

連絡先電話番号

中村駅からのバス乗車希望 あり ・ なし

（該当するものに○を記入してください。）